

タカギ 混合栓施工説明書

takagi

蛇口一体型浄水器 みず工房 クリーン 固定型 壁出し水栓・単水栓・取替スパウト

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上の注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上の注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告 この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

△注意 この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

○記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。

●記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

△警告

- ・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。・修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
- ・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります



やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります



△注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

故障の原因になります

給湯温度は60°C以下でご使用ください。60°Cを超える高温でご使用になるとカートリッジが破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。

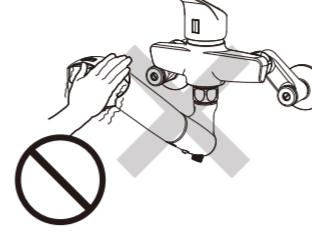
60°C以下

△注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

強い力や衝撃を与えないでください。

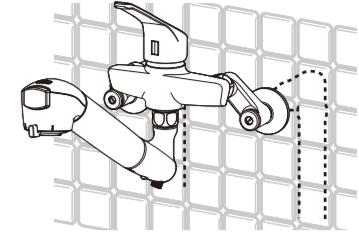
高水圧地区（設置条件参照）では減圧弁を設置してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓本体が傾いたり、水漏れが発生する可能性があります。



減圧弁

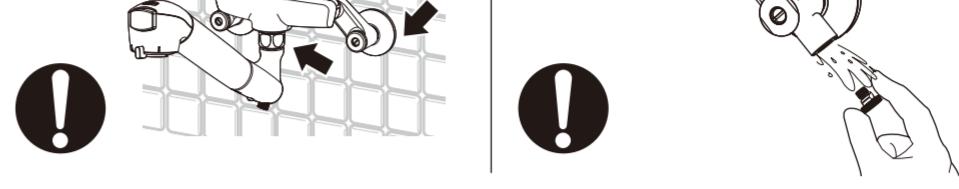


しっかり固定！



施工完了後は、水栓本体及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。

冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。（水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください）



設置条件

■水圧条件

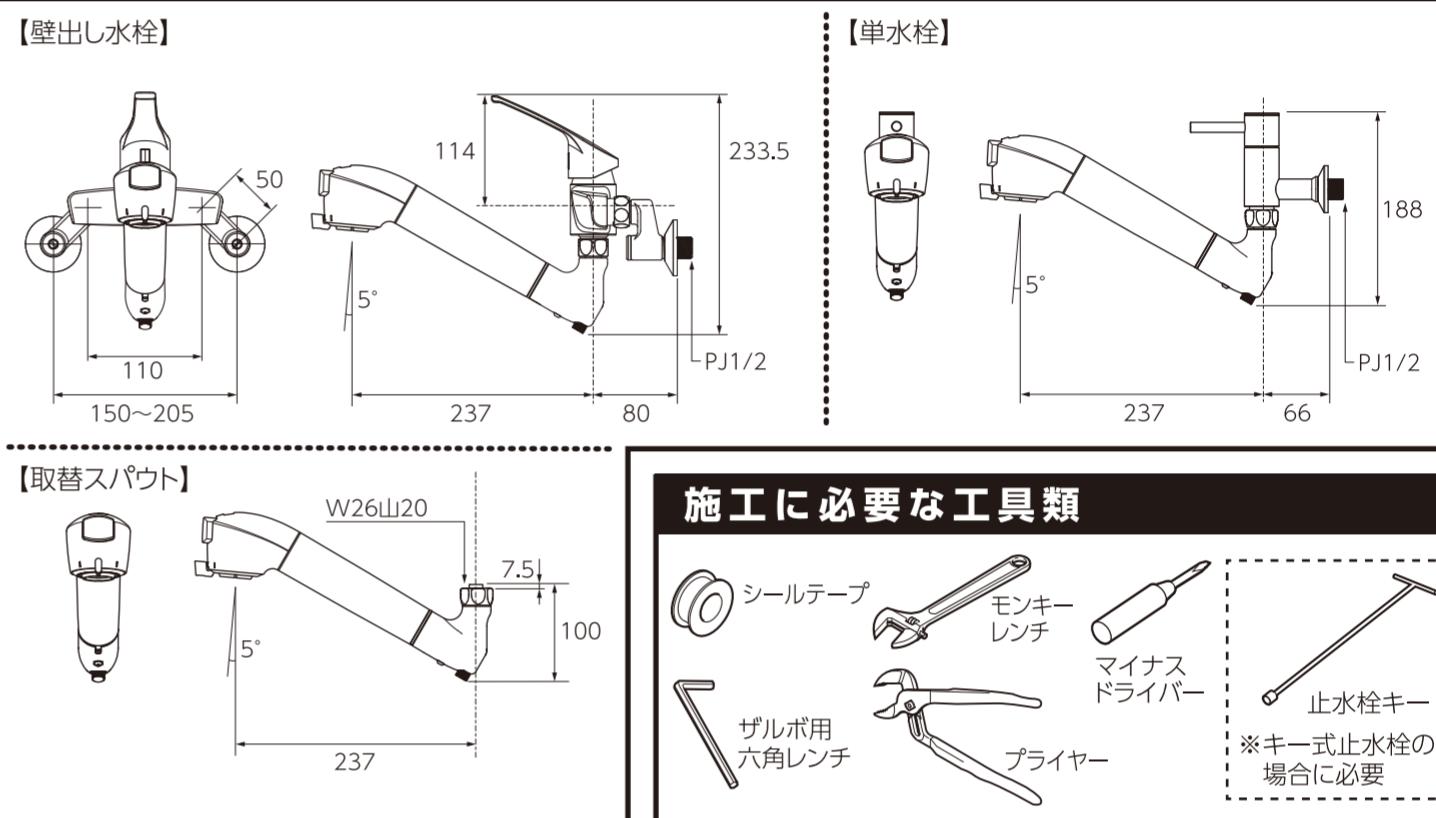
■給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。但し、給湯圧力は給水圧より高くならないように設定してください。

■給水・給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保溫材を巻いてください。

※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。

※水道水の飲用基準に合格した水をお使いください。温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

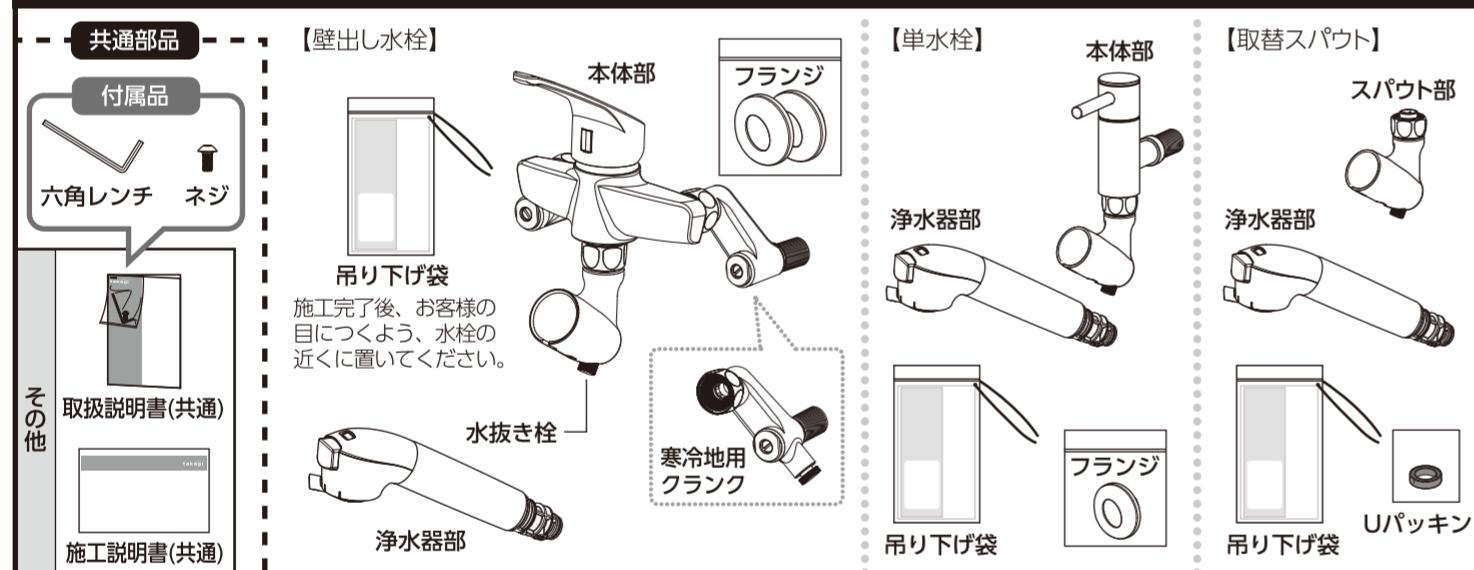
外観寸法図



施工に必要な工具類



部品の確認



水栓の種類によって施工方法を色分けしています。

○壁出し水栓の施工方法…グレー枠 ○単水栓の施工方法…黒枠 ※共通の施工方法…二重枠

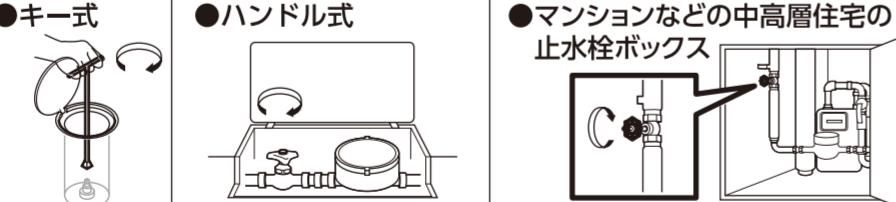
施工方法

※新設の場合は「2.器具の取り付け[本体部]」に進んでください。

1.器具の取りはずし

1-①水道配管の止水栓を閉める

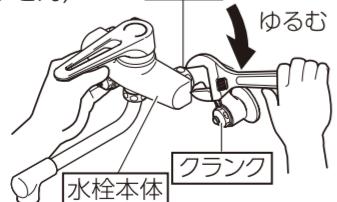
配管部の止水栓などにより
通水を止め、水抜きを行います。



1-②古い水栓を取りはずす

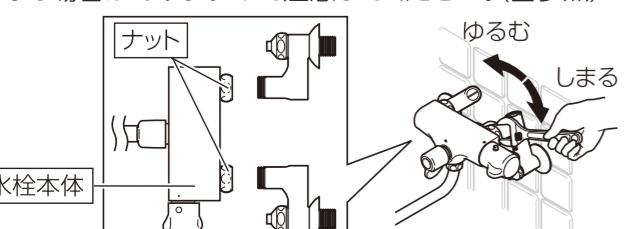
壁出し水栓

モンキーレンチでクランクと水栓本体とを固定しているナットを緩めてクランクから水栓本体をはずします。
(モンキーレンチをあてる箇所にタオルなどをあてがうと製品が傷つきません)



ナットのゆるむ・しまるの向きについて

水栓の種類によっては、ナットが本体側についているものがあり、ナットのゆるむ・しまるの向きが本説明書と逆になる場合がありますので注意してください。(図参照)



単水栓

古い単水栓本体にタオルなどをあてがい、図のように回してはずします。
(壁に向かって反時計回り)



破損・漏水の原因になります

リフォームでの取り付けの場合、築年数によつては屋内の配管が傷んでおり、破損するおそれがあります。その際は、水道配管の交換を行ってください。

けがをするおそれがあります
ネジで手を切るおそれがあります。
注意して作業を行ってください。

<古いクランクをはずす>

クランクにタオルなどをあてがい、図のように回してはずします。
(壁に向かって反時計回り)



1-②古い水栓を取りはずす(つづき)

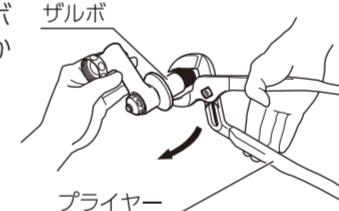
一緒に壁側のザルボ(取付ネジ)がはずれた場合は、下記の要領で対処してください。
(ザルボは最初から壁についているものであり、商品には含まれていません)

△注意

ザルボの取り付けは慎重に行ってください。壁の中なので、万一の漏水時の確認が困難です。

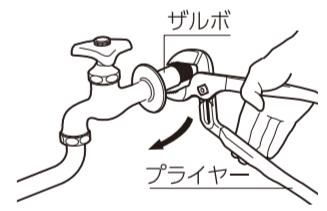
壁出し水栓

①プライヤーなどでザルボをはさみ、古いクランクからはずします。



単水栓

①プライヤーなどでザルボをはさみ、古い単水栓本体からはずします。



②ザルボのネジ部のゴミを取ります。



③しっかりとザルボを握り、シールテープを引っぱり気味で矢印の方向に
7~8回巻き、そのまま引きちぎってください。

△注意

シールテープを逆に巻くと、ザルボに取り付けた際にゆるむおそれがあります
で図の通りに巻いてください。

※ザルボ用六角レンチがある場合

④壁の中に入れ、ザルボ用六角レンチでザルボを締めつけます。

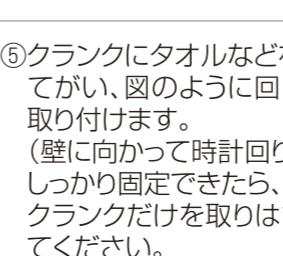


※ザルボ用六角レンチがない場合

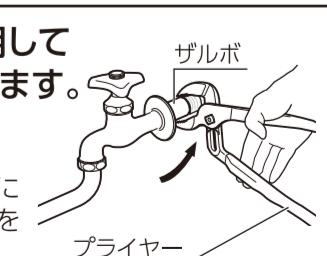
クランクを利用してザルボを壁に取り付けます。



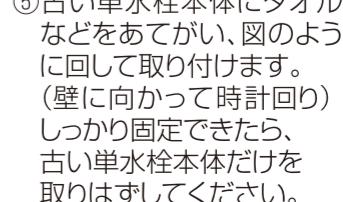
④ザルボをクランクに取り付け、
プライヤーなどを使用して
締め付けます。



古い単水栓本体を利用して
ザルボを壁に取り付けます。



④ザルボを古い単水栓本体に
取り付け、プライヤーなどを
使用して締め付けます。



⑤クランクにタオルなどをあ
てがい、図のように回して
取り付けます。
(壁に向かって時計回り)
しっかりと固定できたら、
クランクだけを取りはずし
てください。



1-3 ザルボ内の清掃をする

ザルボ内のゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。

漏水の原因になります

△注意 ザルボ内にシールテープや接着剤が残っていると、次に器具を取り付けた場合、漏水や故障のおそれがあります。必ず掃除を行ってください。

2.器具の取り付け [本体部]

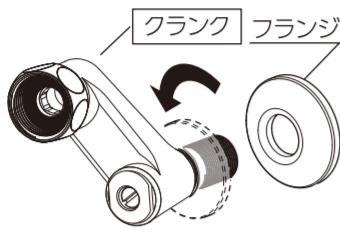
△注意

新設の場合は、配管内にチリ、ゴミなどが混入しています。器具取り付け前に数十秒間の捨て水を行い(水浸しに注意)、その後止水栓を閉めて水が出ないことを確認してください。(止水栓の閉め方は「1-1水道配管の止水栓を止める」を参照してください)

壁出し水栓

2-1新しい水栓を用意する

新しい水栓本体についているクランクを本体部からはずします。フランジは図のように奥までまわし入れてください。



単水栓

2-1新しい単水栓を用意する

図のようにフランジを奥までまわし入れてください。



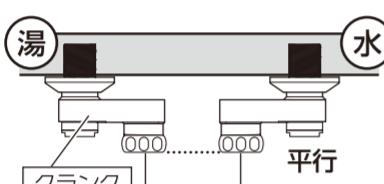
2-2クランクの回転数を確認する

クランクを水側・湯側に分けてザルボ(取付ネジ)にクランクを取り付け、何回転で止まるか確認します。※クランク取り付け時、クランクを微調整のために反対に回すことがないようにするためです。反対に回すとシールテープが切れ、水漏れの原因となります。

MEMO	湯側	回転	水側	回転

△注意

水漏れ防止のため、袋ナット部が壁面に対して平行かつ水平になるようにします。



2-3クランクを取りはずし、シールテープを巻く

しっかりとクランクを握り、シールテープを引っぱり気味で矢印の方向に7~8回巻き、そのまま引きちぎってください。



2-2単水栓の回転数を確認する

ザルボ(取付ネジ)に単水栓を取り付け、何回転で止まるか確認します。※単水栓取り付け時、単水栓を微調整のために反対に回すことがないようにするためです。反対に回すとシールテープが切れ、水漏れの原因となります。

MEMO	回転

2-3単水栓を取りはずし、シールテープを巻く

しっかりと単水栓を握り、シールテープを引っぱり気味で矢印の方向に7~8回巻き、そのまま引きちぎってください。



2-2の回転数確認は、壁出し水栓のクランク仮固定時および、単水栓を取り付ける際に、参考となる数値です。

3.器具の取り付け [浄水器部]

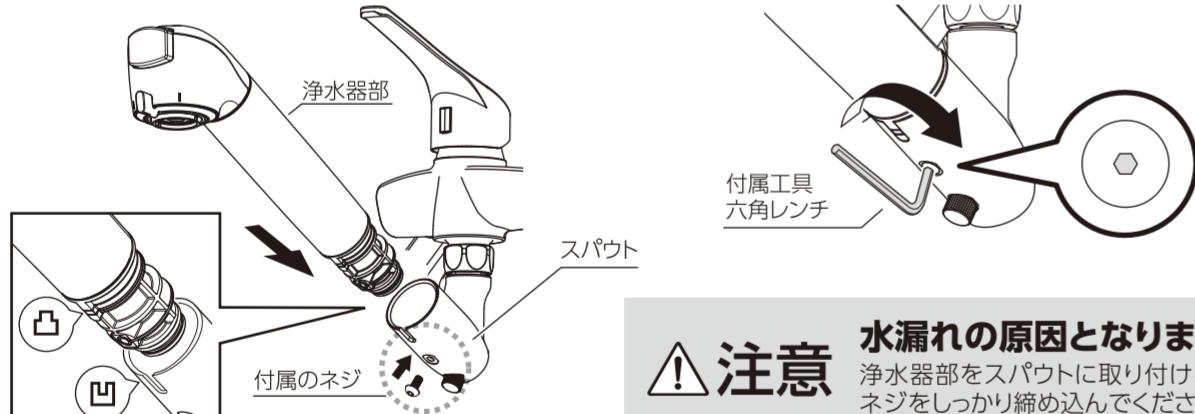
3-1付属工具を用意する

レバーハンドルを開じた状態で、付属工具の六角レンチを使用して浄水器部を取り付けます。



3-2浄水器部をスパウト部分に取り付ける

浄水器部の凸とスパウトの凹が合うように差し込み、付属工具の六角レンチでネジを充分に締め込みます。



4.取り付けが終わったら

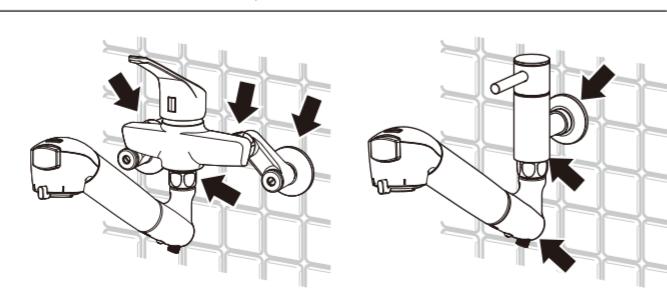
4-1水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部の止水栓を開けます。その後、レバーハンドルを吐水状態にし、正常に通水することを確認してください。



4-2各接続部の水漏れがないかをチェックする

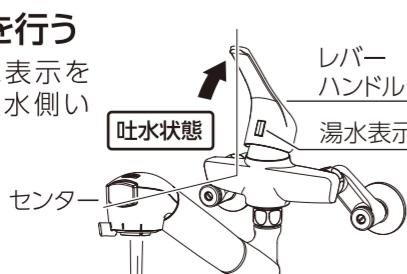
図の箇所を点検してください。一昼夜おいて、各接続部に漏水による水のにじみが無いかを確認してください。漏水している場合は、その箇所を各手順通りに、再度作業を行ってください。



壁出し水栓

4-3適温・適量調節を行う

①レバーハンドルの湯水表示をセンターに合わせて吐水側いっぱいまで上げます。



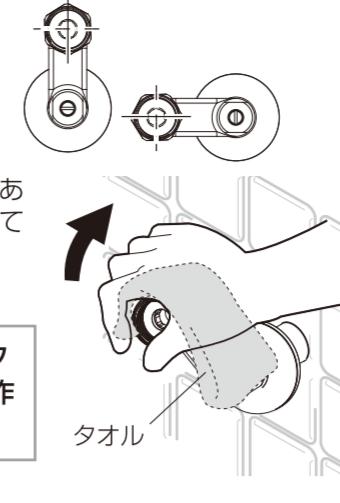
②流量調整ネジをドライバーなどで開放、または絞って適温・適量に合わせます。(水側、湯側同様)

クランク (湯側・水側各1力所)

壁出し水栓

2-4クランクを仮固定位置に固定する

(クランクの仮固定位置)



クランクにタオルなどをあてがい、図のように回していきます。(壁に向かって時計回り)

2-2で確認したクランクの回転数を参考にして作業を進めてください。

タオル

タオル

単水栓

2-4単水栓を固定する

①本体部にタオルなどをあてがい、図のように回して入れます。(壁に向かって時計回り) 本体部がまっすぐになるよう固定します。

2-2で確認した新しい単水栓の回転数を参考にして作業を進めてください。



タオル

タオル

△注意

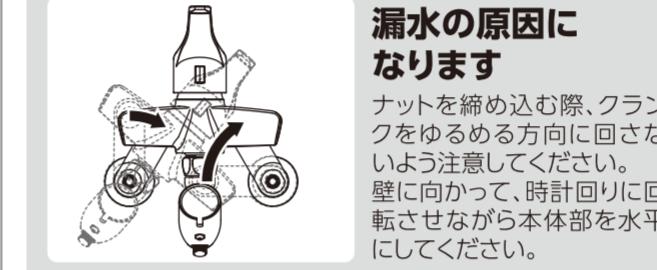
漏水の原因になります

クランクや単水栓は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、「2-3クランク(または単水栓)を取りはずし、シールテープを巻く」からやり直してください。

けがをするおそれがあります

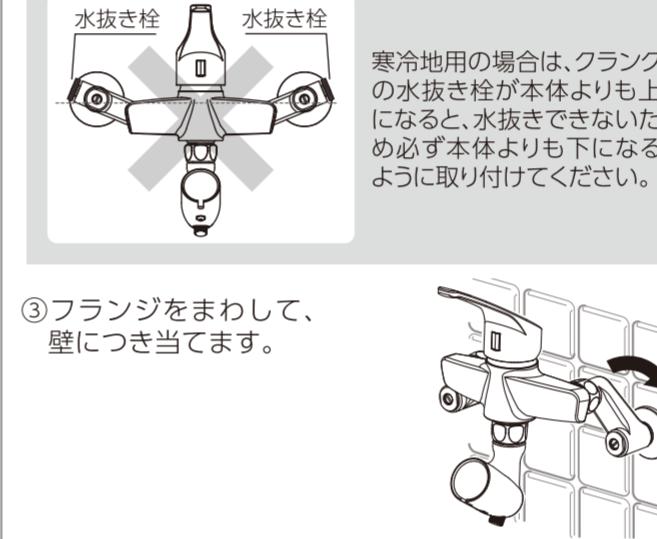
水栓は重いため、落下などに注意して作業を行ってください。

△注意

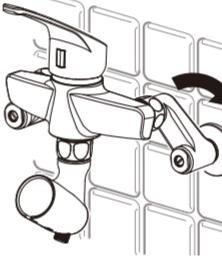


漏水の原因になります

ナットを締め込む際、クランクをゆるめる方向に回さないよう注意してください。壁に向かって、時計回りに回転させながら本体部を水平にしてください。

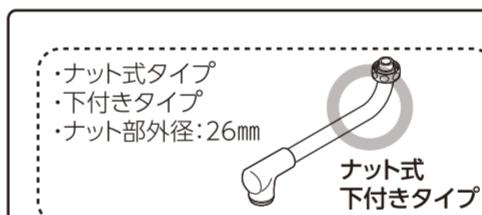


③フランジをまわして、壁につき当てます。



5.取替スパウトの取り付け

※取り付け部のネジサイズは、W26山20専用です。



①現在使用している蛇口のスパウトナットを緩めて、スパウトを引き抜きます。

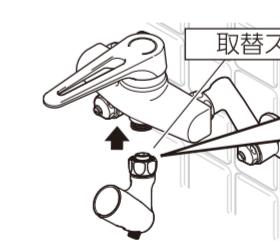
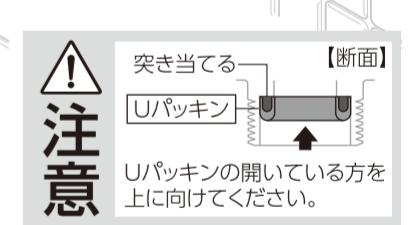
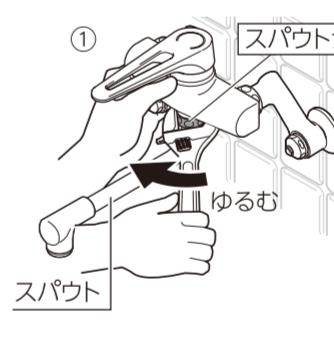
※既存の古いパッキンを取り除き、歯ブラシなどで掃除してください。(既存の古いパッキンは使用しません)

②新しいスパウトのUパッキンを本体に入れます。

※グリスを塗布しているため、ゴミを付着させないよう、ご注意ください。

③取替スパウトを水栓本体に差し込み、袋ナットを締め込みます。

この後の施工は
「3.器具の取り付け [浄水器部]」へお進みください。



袋ナット

袋ナ